

広報 ふたば

特別養護老人ホーム 双葉苑

〒803-0273 小倉南区長行東3丁目13番17号 TEL093-451-5865

鬼は外、福は内

つい最近、お正月を迎えたような気がしますが、早くも節分を迎えました。節分とはご存知のように、災いを払い福を呼び込む行事です。この頃になると植物の成長も活発になり、寒い中にも春の息吹を感じることが出来ます。今年も双葉苑には利用者様の元気な声が響き渡り、災いを追い払うことができました。



職員の涙ぐましい? 努力によって今年も主役が登場、この後、苑内を所狭しあばれまわりました (笑)



鬼たちの登場に利用者様は大喜びでした

ふたばよもやま話 (第十四回)

～日田彦山線～

双葉苑のある小倉南区には、3本の鉄道が南北に走っています。一本が小倉と鹿児島を結ぶ日豊本線、平尾台を挟んでほぼ並行しての日田彦山線、そしてモノレールです。

実はモノレールも鉄道の仲間で、それについてはまたの機会にご紹介しますが、今回の主役は日田彦山線です。

日田彦山線は石田駅から大分県日田市の夜明駅を結ぶ鉄道で、列車は小倉から日田まで走っていました。

しかしながら九州北部を襲った大水害により大きな被害を受け、添田駅～夜明駅間が不通になりました。

関係者は鉄道での復旧を熱望しましたが、諸々の理由により鉄軌道での復旧を断念し、鉄道敷地内の専用道をバスで走るBRT(バス高速輸送システム)という方式で復旧しました。

小倉と再び鉄道とBRTで結ばれた日田への小旅行をぜひ楽しんで見てください。



BRTは「ひこぼしライン」の愛称。小倉～添田間を走る「ひこぼしライン仕様」の列車

職員紹介コーナー
「気は優しく力持ち」とは、まさに今回の主役である井上君の為にあるような言葉です。井上君は力自慢だけでなく、人の嫌がるような仕事を進んでやり、決して自慢することのないような人柄です。井上君は、利用者様に肉親に対するような接し方で、傍から見ていても心和むお世話をしています。利用者様はもちろん、他の職員からもかわいがられ、人懐っこさは天下一品です。裏表ないその性格は、介護職には最適であり、双葉苑自慢の職員の一人です。



苑内の行事ではいつも大活躍の井上君。今回の節分でも当然のごとく主役に抜擢



今月の予定 (3月)

- ひな祭り
3日(日)
 - 石橋医院回診 (毎月曜日)
4日、11日、18日、25日
 - ますゆき皮膚科回診
7日(木)
 - 小倉北歯科回診 (毎木曜日)
7日、14日、21日、28日
 - ビューティヘルパー
12日(火)
 - 生花
27日(水)
 - 健康体操 (毎木曜日)
- 都合により当分の間、お休みします

【編集雑記】「おもてなし」という言葉を調べてみた。「おもてなし」に丁寧語「お」を付けた言葉であり、その語源は「モノを持って成し遂げる」という意味と書かれている。さらに「おもてなし」のもう一つの語源は「表裏なし」、つまり、表裏のない「心」で接することともいわれている▼究極のおもてなしは神仏へのお供えではないだろうか。供え物は信仰する宗教や宗派によって異なるが、神や仏は「何を供えなさい」とは決して言うことはなく、供える人の気持ちで神前や仏前にお供えする。神仏が望むだろうと思う物を考え、またぜひ召し上がっていただきたいものをお供え物として揃える▼施設で入所者様がご飯を食べたい、水が飲みたいと言われ提供するのには「サービス」であって「おもてなし」とは言わない。入所者様の気持ちを大切に、望んでいるだろうことを前もって行動する。まさに施設ではサービスではなく「おもてなし」の気持ちが大切と思う▼入所者様は高齢や身体的にご不自由になられ、ハンディは多い。若者からしたら「こんなこともできないのか?」と思うことはあると思う。しかし、入所者様は我々の年代の頃は、いまの人間には想像もつかないくらい苦労され、また働いてこられたと思う▼飲食や生活のサポートをするだけではなく入所者様の過去を思い、お話を伺うことだけでも立派な「おもてなし」になるのではないだろうか